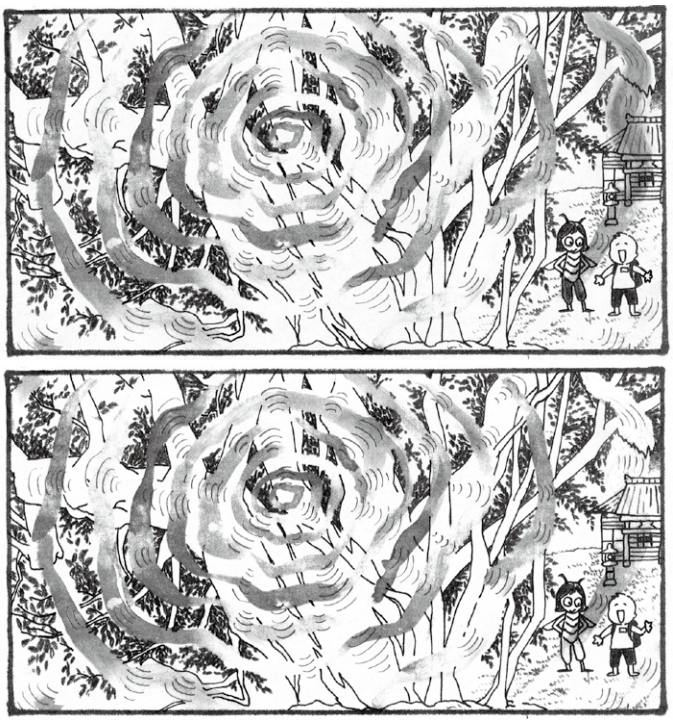
企画広報課 ☎66◆1145

まちがいさがし クイズ

上下の絵を見くらべて、まちがいを８カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画



応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え（右の絵に○をつける）と②住所・③氏名（ふりがな）・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想・ご意見を書いて応募してください。

なお、当選者のお名前を広報がまごおり７月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601　旭町17番１号
企画広報課「クイズ」係
FAX66◆1190

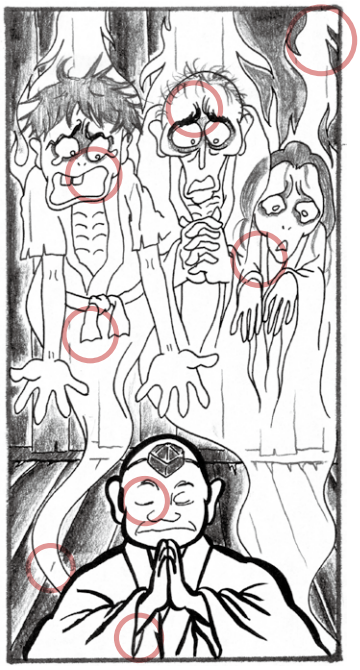
応募締切

５月17日（金）

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。

◆３月号の答え



「ひめはるぜみ」（相楽町）

「わーい！明日から連休だー」小学校からの帰り道、なんだかやけに暑い。
ジーンゴぉジーンゴぉジー
「あれ？蝉の声？」
ジーンゴぉジンゴぉジンゴぉジンゴぉジー〈ピタッ〉
「ヒメハルゼミ？今って５月だよね」
「は？何言ってんのさ。今は７月じゃん」
「うわ、誰？」いつのまにか隣に初めて見る女の子がいた。
「ヨッ・姫ちゃんでーす・君は大塚小学校の太郎だら」
「そうだけど、僕を知ってるの？」
「知ってるよ、７月の始まりは、うちらヒメハルゼミの大合唱シーズンじゃない」
「へっ？うちら・って…姫ちゃんは蝉？あ、ここ…観音堂！」
僕はいつの間にか椎の木の茂るほの暗い観音堂にいた。夕暮れが迫っている。
「そうだよ、去年先生や友達とうちらの声聞きに来てくれたよね」
「うん、あの一姫ちゃん、ヒメハルゼミは般若ゼミとも呼ばれているってホント？」
「そうよ、540年前、丹野城落城とともに全福寺が焼け落ちた戦で、多くの人々や侍が消えていっちゃった。彼らの霊がうちらヒメハルゼミに乗り移って、いまでも一心にお経を唱えているんだで」
「へぇ、そうやって聞くとちょっといい声かもしれんね。んーと…波のような多重音っていうかー」
「ようわからんで言っとるだら、まぁいい線いってるけどフフ・これから今日最後のメインイベント30分！」
ジーンゴぉジンゴぉと１匹のヒメハルゼミが鳴く、と、一斉に蝉の声がシャワーのように襲ってきた。
ジーンゴぉジーンゴぉジンゴぉジンゴぉジンゴぉぉぉぉ…
森の木が鳴いているような神秘的な時間…声はだんだん勢いを増してくる…〈ピタッ〉
刀で切り落としたように声が止まった。
深い暗闇にシンとした静けさが広がる。「すごい！」
「ん・７時半越したわ。うちらは時間にはうるさいもんでさ。太郎、んじゃまたね」
パタタタタ…　２センチほどの淡い褐色の蝉が飛んでいった。
「あ、あれ？」
僕は家の前に立っていた。
「あら、太郎お帰りー」
畑からお母さんの声がした。
「ただいま。夢だったのかな？よし、今年の７月も姫ちゃんに会いに行こう」
太郎の肩に蝉のぬけがらが一つ。

参考資料　大塚・相楽ふるさと博物館資料集　季刊誌　そう
資料　ヒメハルゼミの鳴き声を聴く会〈ヒメハルゼミの不思議〉講師　三浦英治

３月号クイズまちがいさがし（幽霊の片袖）の当選者　　応募総数67通　正解者60人

当選者（敬称略・50音順）

形原町	内田理奈	清田町	榎本抄千代	西浦町	北川一廣	三谷北通	近藤浩行
形原町	中村清良	竹島町	松井雅之	大塚町	三島里菜	鹿島町	望月菜摘
三谷町	籾山章子	竹谷町	山本和歌子				

おめでとうございます。賞品は５月初旬に発送します。